

みんなの議会

2013年1月
第52号



破顔一笑

主 な 内 容

平成24年第4回定例会議案	P 2
議決された意見書	P 2
一部事務組合	P 3
町長への一般質問	P 4～8
教育長への一般質問	P 9
議会の動き	
決算特別委員会	P 10
小矢部市公式訪問	P 11
総務民教常任委員会道外研修	P 12
産建福祉常任委員会道外研修	P 13
みんなの広場	P 14
あとがき	P 14



20年間育てた甲斐がありました

平成24年 第4回定例会 12月18日

上程された主な議案

○二十三年度決算認定

平成二十三年度の一般会計及び水道事業会計の認定は、決算審査特別委員長から報告があり、いずれも意見を付して認定しました。
(九ページ参照)

○固定資産評価審査委員会委員の選任

北竜 横山佳幸氏
東予 大西晴彦氏

○二四年度補正予算

・移住定住応援費
移住定住応援奨励金増

四百八十五万円

・子育て支援費

保育園運営委託料増

二百六十五万円

・商工振興費

中小企業緊急対策利子補給助成金

七百万円

・融雪溝管理費

融雪溝管理運営協会 交付金

二百五十万円

・消防施設費

エアジャッキ更新に

六十一万円

・学校管理費

修繕費

六十五万八千円

旧中学校・校舎除雪委託料

百七十三万円

・活性化センター費

北竜恵比島共成地区除雪委託料増

六十二万四千円

・職員費

給与・手当等・共済費 増

千五百八十四万七千円

・ふるさとづくり基金費

指定寄附積立金 増

二百一十一万八千円

など、一般会計 三千六百三十五万九千円を追加、特別会計それぞれに不用額の精査を行いました。

TPP協定の交渉参加 中止を求める意見書

政府は、国民に対して正確な情報提供もなく、国民の同意もないまま、交渉参加に向けた関係国との協議の開始を表明した。

TPP協定が地方の産業と国民生活に及ぼす影響などについて十分な情報提供と国民的な議論を行うとともに、国民の同意を得ないまま、交渉には参加しないことを強く要望する。

平成25年 第1回 臨時会 1月10日

- 監査委員の選任 …… 旭町 金子幸保氏
- 一般会計補正予算
町道除雪業務委託料 …… 980万円
(1.5回分の排雪費)



- 特別会計補正予算
和風園のボイラー修繕費 …… 58万7千円

平成24年 第5回 臨時会 10月25日

- 沼田小学校 ICT整備事業に関わる物品購入契約 …… 1,256万円 パソコン65台及びICT設備一式
- 沼田小学校の旧校舎、解体工事の請負契約 …… 5,229万円



- 大雪に悩まされている今年の沼田町ですが、雪と町民の共生に力強い仲間が加わりました。
- 昨年、約18年使用してきた圧雪車が故障したため、約2,900万円をかけて新車を購入。昨年の圧雪車よりも広い幅でのコース整備が可能になり、さらに綺麗に整備できます。



高穂スキー場に登場!

新型の圧雪車

新築された小学校



1月21日の3学期から、使われています

- 斬新なデザインの沼田小学校が姿を現しました。中も、「ひかりの原っぱ」と名付けた屋根ガラスからの自然光があふれる開放的な空間です。
- 各教室と体育館を一体化するなど、寒冷地に適したコンパクトな形状です。
- みんな仲良く学んでくださいね♪

不正経理

昨年、2つの不正経理が発覚しました。給食センターは早急に解決しましたが、深川の消防組合はまだ時間がかかるようです。



深川地区 消防組合

昨年4月に4町の負担金3,310万円の使途不明金が発覚しました。

<内訳> 沼田町 980万円 幌加内町 860万円
妹背牛町 850万円 北竜町 620万円

使途不明の始まりは、少なくとも1993年からのようです。

組合議会では特別委員会を立ち上げ、これまで9回の委員会を開くなど調査していますが、当時の会計担当者が口を閉ざしていて、何に使ったかさえ語らず、難航しています。

沼田町議会としては、事件の全容解明と、管理者である深川市が全額弁済するように要求しています。

北空知 学校給食センター組合

昨年6月に、80万円余の不正経理が発覚しました。

不正分は、金額が確定された翌日に、全額が弁済されました。

組合議会の定例会では、顛末を報告させるとともに、再発防止策を確認し、すでに全額が弁済されていることもあり、認定いたしました。



町長への一般質問

問 融雪溝沿線の住民負担軽減の対策は

答 除雪経費を新たに交付金として

予算を計上する



高田 勲
議員

問 本町の融雪溝沿線では、住民の努力により投雪作業が行われ、買い物環境や交通事故防止に多大な寄与をいただいています。しかし、開始から十数年が経過し、種々の事情によ



融雪溝への雪入れは、たいへん

り十分な除雪が出来なくな

つてきている部分も見られ

ます。今後、抜本的な対策

が必要と考えます。

①歩道の雪だけでなく車道

の除雪車で削った、かた

い雪までも投雪していた

だいています。

どの様に感じていますか。

②大雪に見舞われた時、国

道、道道を問わずに町が

排雪をする事ができない

のか。

③融雪溝管理運営協議会に

交付金の増額補正された

が、抜本的な対策なのか。

④重機等で投入する大型融

雪溝を設置する考えがあ

るか。



①道路の雪を含め
投雪をして頂き

大変なご苦労に感謝いた

します。

②大雪に見舞われた時、国

道と協議しています。

どちらか管理者以外の
除排雪は認められないと
の事です。

③交付金（二百五十万円）

ですが、融雪溝の蓋が除

雪により埋まり、それを

取り除くために、その経

費を計上しました。来年

度以降どうするか協議し
たい。

④大型の融雪溝ですが、ど

のくらいの規模を想定し

ているのか、どう運営し

ていくのかなど、問題が

たくさんあります。今後、

検討していきます。

問 農業総合対策と

普及センター移転について

答 普及員OBの雇用を考えている



鵜野 範之
議員

問 本町の農業の振興政

策は農業総合対策事業

の中で推進されています。

その中で、農業振興基金で

の運用額が九百二十六万二

千円で運用している事業が

なかなか、利用されていま

せん。

農業者が求める事とギャ

ップが有るのではと思いま

す。

今年度の執行状況をお聞

かせ願います。

来年度より普及センター

が深川に移転しますが、営

農指導の距離感と不便感を

対策する必要性があると思

います。

そこで専門職を雇うのも解

決策と考えるが、いかがで

すか。



今年度の振興基

金による執行額は

三百三十七千円です。有効

に運営されるような対策と、

使いやすい新たなメニュー

の検討もしています。

普及センターについては

沼田を担当する職員を現行

の四名体制で、二人に一台

の公用車を配置し、農家の

現地要望に対応したい。
現地指導する際の拠点と

して農協の事務所を利用し

たいと考えています。

専門職については来年度

より普及員のOBの方を雇

うことが決まり、さらには

農政部に職員の派遣をお

願っています。

それが決まれば、総合農

業対策室を作り、議員がお

つしゃった対策の窓口を設

置することで担い手対策、

新規就農者のアドバイスな

ど距離感を無くしていき

たい。

三月までの中で表明でき

ればと思います。



廃止が決まった農業普及センター

問 人口が減っても合併しないのか

答 20年間は、合併しないのがベストだと思う



津川 均
議員

行けないのではないのか？もし合併せずに生き残るのであれば、人口を増やす町長の具体的な政策や、大きなビジョン、目標を聞きたい。



国立社会保障人口問題研究所の人口

問 沼田町の人口も年々減り続けて、もう三千五百人台になった。過去十年間で町外へ転出された方が千七百四十五人。転入が千三百十九人で、四百人ほど転出者が多い。さらに亡くなられた方は生まれた方よりも三百七十一人多い。つまり、この十年間で人口が七百二十人ほど減っている。このままでは他の市町と合併しないと、生き残つ

予想では、二〇三〇年に沼田町は二千六百十一人になるとされています。つまり仮に人口対策を何もしなくても、二十年間は人口が二千人を切らないのですから、沼田町は合併せずに単独でやって行くのがベストだと思います。その上で私が行いたい人

人口予想では2030年になると沼田町は人口が2,611人で、65歳以上が1,196人。高齢化率45%で、2人に1人は65歳以上の高齢者になる。



年齢別の人口グラフで説明する町長

口対策は、『子育て環境』

として、「幼稚園と保育園の一元化」、「小中の一貫教育」、「子育て住宅」。さらに『福祉、医療、介護』の施設がまだまだ足りないの

りたい。

将来は大都市に転出しても住宅が無いとか、サービ

問 給食センターが無くなる対策は

答 北空知の広域で行い経費削減する



久保 元宏
議員

問 長い間、沼田町に馴染みのあった給食セン

ターを役場の職員と議員が、永遠に無くす判断をする分かれ道に立っています。たしかに人口減や予算削減などで、あらゆる施設を全ての市町村が持つフルセット行政に限界もあるでしょう。しかし、沼田町から高校や農業改良普及センターが無くなり、さらに給食センターが無くなるのであれば、次に厚生病院や警察署が続



7月9日、中学校でイベント炊飯

ードの議論にすり替えてはいけません。

給食センターが沼田町から無くなることにあたつての質問です。

①プロセスを超えた判断はいけません。町民や役場の職員の意見をどう反映したのか？

②現在の学校栄養教員が築いた食育指導レベルをどう向上するのか？

③施設を無くして浮いた経費は何に使うのか？



沼田町の学校だけの百人から二百人の給食を作るのに、四、五億円がかかります。私は広域でできる事業は広域でやっていきたいと思っています。①PTAへのアンケートはしません。②四月以降に協議する。③今後に増大する福祉や教育への財源にしたい。

生活教育長

もし新しい給食センターが深川市にできれば、栄養教員は2人配置されるだろう。食材も参加市町の地場産品を使って、食育を進めたい。

問 エゾ鹿対策はスピード感での対応を

答 対策委員会と協議し取り組みたい



己内勝 議員

問 エゾ鹿の農作物被害について、当町の被害の状況を伺いたい。

近隣町村では、すでに電気柵の設置、完成が二五年度に完了すると聞いているが、これにより沼田町のエゾ鹿被害の拡大が予想されます。

早急な対策が必要と考えるが、電気柵の設置は、補助を受けるには近隣町村と広域で実施する事が必要との事ですが町長の見解を伺いたい。



農作物被害につ

いて、平成二十四年度、農業者より申し出があった分として、水稲で五百四十四ヘクタール、千七百七十九千円、畑作物他、三十五ヘクタール、百一五万五千円、その他うさぎ、き

つね被害で、七ヘクタールで一九万七千円です。

対策として私どもの町は、くくりわなでの取組で対応しており、昨年は十三頭の捕獲があり、猟友会の協力も頂きながら個体数の削減に努力しているところであります。

電気柵の設置については、深川市、北竜町で実施されていますが、普及の問題、近隣の地権者の合意を得る問題、施設の草刈等の維持管理の問題があり、有害鳥獣対策委員会で見察検討を行っている所であります。

今、意向調査も行われている様ですので、これらを踏まえ、JAとも協議し、取り組んでいきたい。



山間地の電波塔



問 携帯電話の利用エリアの改善を

答 不便のない環境に近づけたい



誠原 議員

問 携帯電話の普及は著しくその役割も今では、通話のみならず、メールあるいは

情報利用できる機能、更に、スマートフォン携帯に成ってきています。

今や、携帯電話は国民一人に一台の普及といわれています。

しかしながら、私達の町内を見ますと未だに携帯電話の通じない、いわゆる圏外の地域があります。沼田の特徴である、中山間地、沢地が多いなどが考えられます。

この様な地域を利用してある町民にとっては大変な不便と苦勞を強いられています。

地域の不便を解消する事が行政として出来ないか、

災害時の連絡手段としても必要と思うが、町長の考えを伺いたい。



以前にも携帯電話の利用出来ない地域より話がありました。

その際に、電波通信管理局に話を伺った経緯があります。このことは、無線通信事業者も一緒に取り組まなければなりません。

基地局の設置については市町村で出来ませんが基地局に行く伝送路は無線事業者でしか設置出来ません。

この事の要請を強力に進めなければなりません。

携帯電話の使えない地域を含めて要請、要望活動を積極的に行い、不便のない形に近づけたい。



問 厳寒時の広域停電に

どのように対処するか

答 道からの指示もあり、早急に整備する



中村 保夫
議員

問 十一月二十七日の暴風雪で室蘭方面の送電網が破壊され、全電源喪失が三日間続きました。北空

知管内でも、想定しておかなければなりません。北空知管内で厳寒時に全電源喪失が三日間続いた場合、

・住民はどこへ行けばいいか。
・食糧は確保できるか。
・安否確認はできるか。

極めて確率の低い災害に、対策コストをかけるのは無理があるとしても机上訓練はするべきではないか。



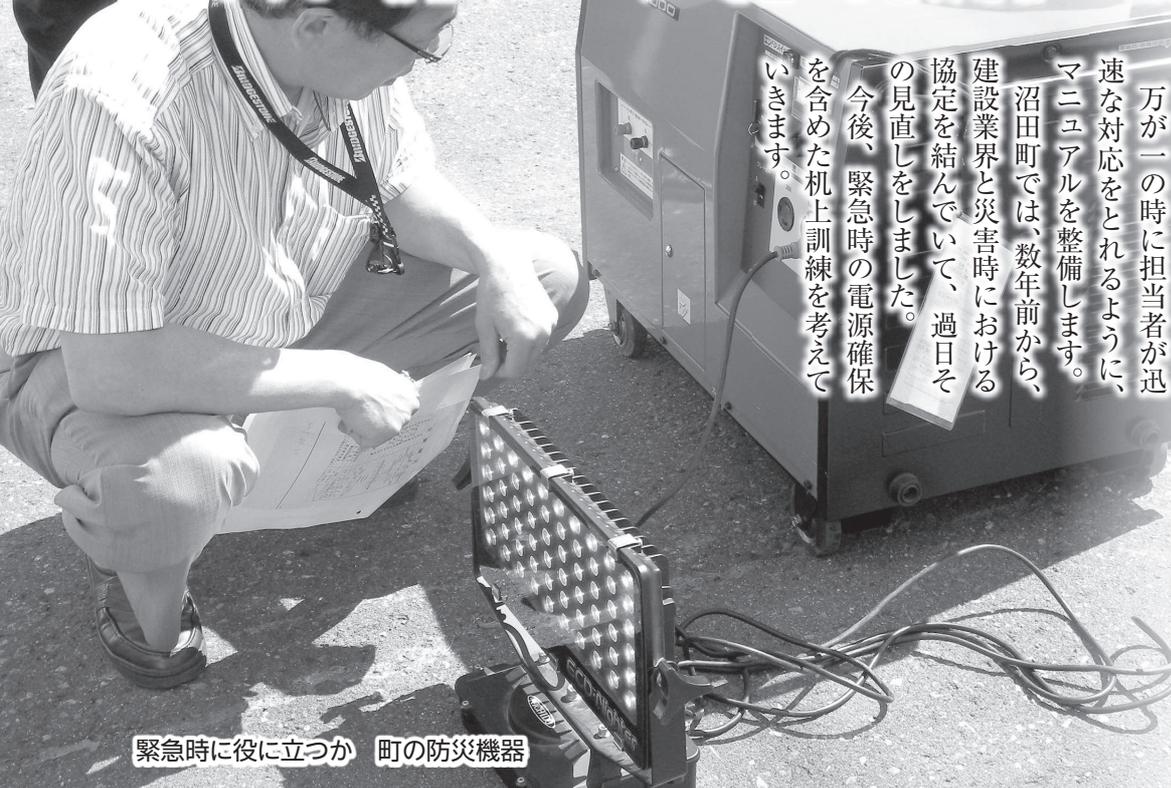
この事象が起これば、道から危機管理についての説明がありました。近隣町村を含めて、このような三日間

の全電源喪失は考えていませんでした。

万が一の時に担当者が迅速な対応をとれるように、マニュアルを整備します。

沼田町では、数年前から、建設業界と災害時における協定を結んでいて、過日その見直しをしました。

今後、緊急時の電源確保を含めた机上訓練を考えていきます。



緊急時に役に立つか 町の防災機器

問 週二回の生ごみ回収を復活すべきだ

答 現在の体制がおおむね受け入れられている



上野 敏夫
議員

問 生ごみの回収回数が少なく、町外から転

入された方から不便さと戸惑いの声が寄せられています。

町が推奨しているデイスポーザも下水道の通っているところはいいが、それ以外はだめだし、少人数家庭では負担が重くなります。

生ごみは悪臭が出るので、週に二回の収集にすべきです。

また、ごみの分別で意識はあるけど理解していない



生ごみ収集

方がいるので、町民に詳しく説明してください。



ご存知のように、二十三年八月から戸別収集を復活しました。

その後も懇談会などで意見を聴取しておりますが、声として上がっておりませんので、おおむね今の体制が受け入れられていると考えております。

デイスポーザは普及が進めば、町の広域ごみ処理負担金も減ることから、推奨してまいります。

分別については、回収業者さんに、指導のシールを貼って頂いたりした結果、間違いはだいぶ少なくなつたように聞いております。

問 農産加工物をどのようにするか
答 作付増加の為にあらゆる手だてを考えた



問 今年度の農産加工場の運営が順調だったことに安堵しております。

八月に名古屋の「コーミ株式会社」と業務提携をしたことに関連して、以下質問します。

今後、トマト生産量を倍増しなければいけません。どのような体制を考えているか。

また、沼田町の老朽工場の改築・改造を考えているか。

そもそも、農産加工場は何のために町営で行っていると考えているか。

更には、就業支援実習農場との連携をもっと取るべきではないか。

「コーミ株式会社」をはじめ民間食品会社は消費者の一番近

くにいます。そのノウハウを導入せんがために業務提携しました。

トマト生産者からは、「少しでも買入れ価格を上げてほしい」との願いもありますので、それをクリアしながら作付増加を図りたいと思います。

工場の老朽化については、安心・安全なものを届けるためには、新しくしていく必要があると考えています。

この加工場は減反と価格低迷にあえいでいた農家の所得向上を目指したものであり、その理念は変わっていません。

就業支援実習農場との連携は雇用形態も違うので一体化は難しいですが。



コーミ株式会社

昭和25年創業の名古屋を拠点とする調味食品製造会社。トマト系調味食品の製造では日本で第4位のシェアを誇る。



傍聴席の生の声
 このようなおもしろい議論はビデオに収録して配信してほしい。(40代男性)

傍聴席の生の声
 高齢者対策や介護などで、町民の声の代弁者になってほしい。(70代男性)

今回の定例議会の傍聴者は、16名でした。
 みなさまの傍聴を待っています。お気軽に、いらして下さい♪

今年も議員それぞれの思いを、漢字一文字で表現してもらいました。はて、その真意は……是非、直接本人に聞いてあげて下さい。

夢 明 言 恵 師
 挑 進 正 集 情 雪 亜
 浅野事務局長 吉田書記

教育長への一般質問

問 小学校議会を開催してはどうか

答 実施事例を参考にして前向きに検討する

中村保夫 議員

問 子供達の自由な発想は時として私たち大人の見過ごしていたものを鋭くえぐることもあります。

一方で、子供たちに地方自治の仕組みや意見開陳の方法を学ばせる事も、私たち大人の仕事です。

今の世の中はツイッターでつぶやく事が流行りの様ですがそれだけでは子供は成長しません。

そこで、教育の一環として小学校議会を開催してはどうか。

私たち議員もこの議場の傍聴席で、自由な奔放な意見を拝聴したいものです。

最後に、議長は議場の責任者として議場使用許可を出していただけますか。

生沼教育長

教育の面でも町づくりの面でも、とても効果的な提案を頂きました。

他の町村でも実施事例がある様なので参考にしながら検討します。

日暮教育委員長

学校現場では学級会や児童会の選挙をはじめ弁論大会などがあり、それぞれに自分を主張する機会があります。

修学旅行では国会議事堂を見学し、政治に触れさせております。

ご提案の件は教育委員会としても前向きに考えたい。



杉本議長

議場を大いに使って勉強の場にしてほしいと思います。

問 ICT授業の導入メリット、進め方は

答 子供達の情報活用能力を高めた

渡辺敏昭 議員

問 新しい小学校が完成し、電子黒板、タブレットが導入されますが、昨今の情報社会の流れを見ると、今やパソコンの利用は、学校の授業で教える範囲を超えている様に感じます。

私は、インターネット、セキュリティ等、モラル的基本を小学生のうちから教える事が大事で、その為にITを利用し授業を進めるべきと考えます。

基本的なICT授業のメリットを伺いたい。

又、パソコンも数年で変わるのが現状です。今、取り入れ様とするICTがどう活用されるのか、授業にどういう風に取り組むべきと考えているか伺いたい。

更に、ICT授業を進める上で教員の養成が大事であるが教育長の考えを聞かせて頂きたい。

生沼教育長

今、社会の情報化は凄まじい勢いであります。こうした社会をこれからの子供たちは生き抜いていかなければなりません。この事から、情報活用能力をしっかりと身に付け、社会に巣立っていける事が重要であります。

ICT授業のメリットについては、特に電子黒板、実物投影機等は教育に非常に効果が高いと言われております。機能的で先生方も説明しやすく、生徒も非常に理解し易い効率の高い授業が展開でき、スムーズに勉強が進むと言われています。

次に、技術の進化と共に、情報機器も常に進化しております。

教育の観点からも機器の更新は必要ですが、財政的な問題から、その時々に対応いたしたい。

教員養成については研修活動、学校研修、空知教育センター講座等、これからも、先生方に勉強の機会を作っていくたい。

10月22日
～25日

平成23年度 沼田町 決算審査特別委員会

■全議員で役場の各課ごとへ質問と意見交換をし、最終的に下記の『意見書』を提出した。



歳入歳出 決算認定 意見



一般会計等

一般会計等 財政が厳しい中で、理事者、職員が一丸となって予算執行に取り組んだ努力は、議会としても認める所ではあるが、今ひとつ成果が見えない事業もみられる。

特に平成23年度は、町長にとって初めての政策年であり、町民に十分な理解をいただける行政執行が求められた年である。

今後より一層、目標達成へ向けて推進することを望み、次の意見を付す。

① 各種事業の町民へのPRについて

全般に、平成23年度に計画された政策が、町内外へ的確にPRされていない印象を待つ。PRや、説明が周知不足のために利用率や効果が上がらない事業が散見される。

今後は、利用する対象者の年代・性別・職種・地域などに合うように、きめ細やかに告知の方法を変える工夫が必要と思われる。

中でも、光ファイバーの普及率については26.2%に留まっている。町民にも負担を求める事業ではあるが情報化時代でもあるので、その他の情報機器の活用も合わせて検討を進め、更なる普及向上に努力願いたい。

② 大型融雪槽の設置について

市街地の中で一部高齢者が多い地域や、空地が広がる地域において、融雪溝への投入作業が体力面や、人力不足のために厳しい状況となっている。

今後は、重機で雪を搬入できる大型融雪槽の設置などを検討し、住民の生活を守ることを切に求める。



③ 農業総合対策事業について

農業経営者にとって必要な事業であるが、内容の充実が必要と考える。

そのためには、町と農協との連携をより緊密にし、農業経営者の求める事業や意見の積み上げに創意工夫を凝らし、より使いやすい予算付けに努力願いたい。



水道事業会計

計画的に古くなった配水管などの設備改修が進められており、適切な維持管理が行われている。今後も厳しい見通しではあるが、健全な事業運営を目指して努力することを望む。

その他の意見

- 政策予算が決算前に専決で無くなっているのは問題だ。
- 役場の職員の旅費宿泊費の基準を現状に合ったように明文化せよ。
- 緊急雇用対策事業をより積極的に活用せよ。
- 国保会計への町の持ち出しが今後も増加するので、住民健康の受診率の向上と、余裕のある基金の積み立てをせよ。
- ほたる館や町営バスを「後期高齢者証」の提示で無料割引になる制度を工夫せよ。
- クラウス十五号を、ほたる館に移転した効果をもっと生かせよ。

2012年11月
27日～30日

沼田町議会 道外調査

11月27日 小矢部市表敬訪問



沼田町の夜高あんどん祭りに毎年いらしてくれる、小西喜代志さん。

地元の伝統の踊りや歌などを披露していただいた会の、司会の女性。

「津沢・夜高あんどん保存会」の会長、川原久俊さん。

小矢部の市長、桜井森夫さん。1954年1月生れ。お若い!

小矢部の議長、中村重樹さん。翌朝、お見送りいただきました。

初日は、沼田町と姉妹都市である富山県の小矢部市へ。盛大な歓迎を受け、長い交流と友情を誓い合いました。



地元の主婦らによる、数多くの伝統芸能の披露。文化の重層を実感。

▲小矢部市の議長から、沼田町の議長へ、全議員分の「小型あんどん」をいただき、歓迎会は盛り上がりました。

28日 午前6時

●沼田町を開拓した沼田喜三郎翁の祖先の墓に、お参りいたしました。お墓には、沼田町などの説明が書かれた看板などがあり、小矢部市の皆さまの心がこもった姿勢に感激いたしました。

これ以降は、2つの委員会に分かれて、東北へ『地域防災』、中部へ『福祉』の視察へと向かいました。





乳児と高齢者の共存

富山型デイサービスとは、赤ちゃんからお年寄りまで、障害の有無に関わらず、誰もが住み慣れた地域で、一

**富山型デイサービス
わくわく小矢部**

二十八日

**産建福祉常任委員会
道外調査報告**

小矢部市 名古屋市 白川町

つ屋根の下でデイサービスを受けられる場所です。

現在では「富山型デイサービス」登録数八十一施設、「ケアネットワーク」の加入数五十七施設になっています。

わくわく小矢部は高齢者・障害者・乳幼児や児童、地域の皆が共に楽しく語らい、ふれあい、助け合い、生きがいを感じ、わくわくした時間を送っていた。地域密着型の小規模施設です。

二〇〇二年に精神健康福祉士・保育士・社会福祉士三人で病院跡地を改修して開業しました。

名古屋市の回想法

二十九日

北名古屋市では回想法を介護予防、認知症予防を図る地域ケアとして取り入れています。

回想法とは自らの経験や、昔懐かしい道具を教材にその体験を語り合う事により、

介護予防、認知症予防に役立てようとしています。

回想法スクールは、十人ほどのグループで週一回の教室を、連続八回、各回テーマを決めて行っています。



グループ回想法

**岐阜県白川町 独居
世帯のタブレット見
守りサービス**

二十九日

白川町では高齢化率三十八%と増えています。

町では見回りサービスとして、これまで社会福祉協議会などによる電話連絡や民生委員による訪問などを行ってきたが、面積の九割を山林が占めている町では、見回り活動で町内を移動す



タブレットの送受信

るにも時間がかかる。その打開策として、電気メーカーのNECなどと組みタブレット型、端末で使える見守りソフトを開発しました。七十歳以上の高齢者四十七戸に配布、三百六十五日二十四時間見守っています。朝サバーから質問項目を一斉配信し、利用者が自宅で画面に触れて答えます。役場のパソコンに各解答が集まり、保健師や町職員が安否の確認をします。「テレビ電話」機能を使えば、保健師に通じて、顔を見ながら相談ができる。利用料は町の負担で、端末の初期投資は県の補助金で行いました。

着信回答画面



コーミ犬山工場視察

三十日

コーミ株式会社との「業務連携協定」により、これらの事業の展開が、期待されています。

- ◎加工トマトの面積の拡大
↓ 希望面積・3ha以上
- ◎沼田農産加工場によるコーミトマトジュースの販売強化
- ◎沼田農産加工場によるコーミ野菜ジュースの開発と販売
- ◎にんじん・アップル等のジュース、パンプキン・コーン等のスープ系商品の開発
- ◎その他、新規販売ルートの共同開拓

沼田厚生病院との意見交換会

十二月十四日

町づくり調査特別委員会（津川委員長）は、沼田厚生病院の金谷院長、鳥本副院長、木村事務長、一瀬看護師長をお招きし意見交換会を行いました。

病院の建て替えについて、又、将来の病院の体制について、利用者を増やすための魅力ある病院づくりにつ

いて話を伺いました。

病院側から、「病院の建て替えは、時期の問題、規模の問題など、町としての考え方が重要」と説明を受けました。

夜間救急体制の継続も、「スタッフの数により体制継続可能になるので、看護師の確保が必要」と話していました。



あとがき

十二月二日、中央自動車道上り笹子トンネルで天板崩落事故、九名の方が亡くなり、二名の方が負傷されました。

偶然にそこを通りがかっただけなのに、何故この様な事故が起こるのか、「コンクリートは四十〜五十年は大丈夫」この事を過信し十分な対策を取らなかった事が問われています。

見えない所で腐食が進み少しずつコンクリートの内部劣化が起き、ついに崩落してしまつたのです。日々の点検を確実にする事で防げたはずですが

今年の豪雪を見ると我が町の古い施設が心配です。

広報特別委員

中村保夫 長原 誠
鶴野範之 久保元宏

みんなの広場

新しい校舎への思い

沼田小学校6年 城田有梨



待望の新しい校舎を三学期から使うことにあたり、私にはたくさんの思いがあります。

まず、今まで長い間お世話になった古い校舎に対して感謝の気持ちをいつまでも忘れずにたいと思います。

たくさんの人が卒業していった歴史ある旧校舎は至るところに古さが出ていましたが、私たち児童にとってはそのような古さも全て含めてこの校舎の思い出で、お気に入りの場所でした。

また、新しい校舎については旧校舎同様長く使うことによって、この立派な校舎の造りを次の世代の人達に伝えるとともに、建設に関わった全ての方への感謝の気持ちも引き継いでほしいです。

今の6年生は3学期という短い間しか使うことができませんが、これからもこの校舎を美しく長持ちさせ、旧校舎同様、まちの人たちから愛される場所になってほしいです。

また、少子高齢化が進む中、町おこしにも役立つよう、「小学生だけが使う建物」ではなく、日常で地域の方々も使うことのできる「公共施設」となるよう期待しています。

